

2019年度 事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

1. 総括

財団の事業活動は当初計画通り完遂し、公益法人として公益性、公平性に留意するとともに、効率的・効果的な事業運営に努めた。理事会、評議員会は、必要な決議、報告を行った。また、内閣府への事業報告・事業計画の提出、法務局への必要な登記も行った。

為替相場が円高方向に振れ、特に豪ドル安による為替連動債の大幅な利金減少の影響で利金収入は予算を大きく下回ったが、奥村組土木興業株式会社様より1,000万円のご寄付をいただいたことにより、497万円赤字の収支計画が158万円の黒字となった。なお、1月に満期償還の債券が1件、1億円発生し、3月に豪ドル為替連動債券が1件、1億円早期償還されたため、各々新規債券への買替えを実施した。

2. 事業の執行

(1) 助成事業

令和元年7月1日から9月6日の期間で募集を行い、採択案件選考のための助成選考委員会を令和2年1月10日に開催して審議・選考した。詳細は、第1号議案—2「事業報告明細(案)助成事業 事業報告」の通りである。

＜表1＞助成事業の応募状況と採択結果 (各欄のカッコ内は前年度実績)

| | | 応募 | | 採択 | |
|---------|----------|--------------|------------------|------------|------------------|
| | | 件数 (件) | 金額 (万円) | 件数 (件) | 金額 (万円) |
| 高齢者福祉助成 | | 111 (99) | 1,240 (1,199) | 83 (74) | 844 (816) |
| 調査・研究助成 | 福祉の向上 | 9 (3) | 672 (233) | 4 (2) | 235 (132) |
| | 健康の維持・増進 | 22 (32) | 2,034 (2,956) | 8 (8) | 508 (528) |
| | 分野横断的課題 | 3 (4) | 299 (400) | 1 (1) | 80 (70) |
| | 現場の創意工夫 | 1 (5) | 96 (409) | 0 (1) | 0 (70) |
| | 小計 | 35 (44) | 3,101 (3,998) | 13 (12) | 823 (800) |
| 合計 | | 146 (143) | 4,341 (5,197) | 96 (86) | 1,667 (1,616) |

(2) 健康事業

高齢者の健康の増進を図る健康事業は、居住地点まで出向いて実施する「健康のつどい」の回数を若干増やした。「健康づくり料理講習」は新型コロナウイルス感染症の影響で3月開催分が中止となり、計画回数を下回った。詳細は、第1号議案-2「事業報告明細(案)健康事業 事業報告」の通りである。

＜表2＞健康事業の実施状況

| | 2019年度実績 | | 2019年度計画 | |
|-----------|----------|--------|----------|--------|
| 健康のつどい | 107回 | 6,024人 | 100回 | 5,000人 |
| 健康づくり教室 | 5回 | 1,067人 | 5回 | 950人 |
| 健康づくり料理講習 | 20回 | 560人 | 23回 | 690人 |
| 合計 | 132回 | 7,651人 | 128回 | 6,640人 |

3. 適正な業務の執行を行うための状況

(1) 財産運用管理委員会の診断

平成24年度に設置された「財産運用管理委員会」を本年度も令和2年2月14日に開催し、財産の管理及び運用の適正化と所有債券の診断及び今後の買換え時の購入に対する助言を受けた。

⇒助言

仕組み債の割合が高いため、そのリスクには引き続き留意するとともに、新規購入は控えて頂きたい。

(2) 寄付のお願いの実施

一般からの寄付金を募るべく、当財団のホームページに「ご寄付のお願い」を継続して掲載するとともに、グループ従業員およびOBに対しては、令和2年1～2月にかけて寄付の呼びかけを大阪ガスの社内ポータルとすずらん会のホームページに掲載した。

4. 収支状況

(1) 収入

基本財産等の利息収入は4,493万円、豪ドル安による為替連動債の大幅な利金減少の影響で年間運用利回りは1.9%（前年度2.4%）となった。

また、財団活動用の資金として、奥村組土木興業株式会社様、グループ従業員およびOB会会員より合計1,017万円の寄付金を受けた。

この結果、当期収入合計は5,510万円となった。

(2) 支 出

支出総額は5,352万円となり、その内訳は、事業費4,825万円(構成比90.2%)、管理費527万円(同9.8%)となり、予算5,570万円に対する執行率は96.1%となった。これは、新型コロナウイルス感染症による3月の活動停滞が影響している。

(3) 当期収支

以上より、当期の収支は158万1千円のプラスで、有価証券(ファンドラップ)の評価益が6千円あり、最終の当期の収支は158万7千円の黒字となった。

＜表3＞2019年度 収支決算の概要〔費用配賦後〕

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(千円)

| | | 2019年度 実績 (A) | 2019年度 計画 (B) | 差 額 (A) - (B) |
|-----------------|-------------|------------------|------------------|------------------|
| 収 入 | 基本財産利息収入 | 44,653 | 50,470 | △5,817 |
| | 雑 収 入 | 282 | 160 | 122 |
| | 小 計 | 44,935 | 50,630 | △5,695 |
| | 寄 付 金 収 入 | 10,170 | 100 | 10,070 |
| | 当 期 収 入 合 計 | 55,105 | 50,730 | 4,375 |
| 支 出 | 助 成 事 業 費 | 27,137 | 26,800 | 337 |
| | 健 康 事 業 費 | 21,114 | 23,000 | △1,886 |
| | 管 理 費 | 5,272 | 5,900 | △628 |
| | 当 期 支 出 合 計 | 53,524 | 55,700 | △2,176 |
| 当 期 収 支 差 額 | | 1,581 | △4,970 | 6,551 |
| 有 価 証 券 評 価 益 | | 6 | 0 | 6 |
| 最 終 当 期 収 支 差 額 | | 1,587 | △4,970 | 6,557 |
| 前 期 繰 越 収 支 差 額 | | 32,906 | 32,906 | 0 |
| 次 期 繰 越 収 支 差 額 | | 34,493 | 27,936 | 6,557 |

5. 財産の運用及び管理等

(1) 寄付金の受領

奥村組土木興業株式会社様より令和2年1月27日に次のとおり寄付金を受領した。

- ・ 寄付金の金額

1,000万円

- ・ 寄付金の使途

80%の800万円を公益目的事業として使用

20%の200万円を法人会計管理費として使用

(2) 債券等の購入

- ①運用財産として所有していたファンドラップ1,000万円については、7月22日に解約し定期預金とした。なお、解約時に12万円の利金を得ている。
- ②基本財産の保有債券の内1億円の債券が満期償還され、買替えを実施した(表4-1)。
- ③基本財産の保有債券の内1億円の債券が早期償還され、買替えを実施した(表4-2)。

<表4> 償還債券と買替え後債券一覧

表4-1 基本財産の満期償還に伴う買替

| | |
|---------|-------------------------------|
| 償 還 日 | 2020/1/27 |
| 満期の債券 | 大阪市平成21年度第7回公募公債 |
| 額 面 | 1億円 |
| 利 率 | 1.47% |
| 買換後の債券 | 第57回ソフトバンクグループ 株式会社無担保普通社債 |
| 購入時の格付 | A-(JCR) |
| 購 入 価 格 | 9856.5万円 |
| 実 質 利 率 | 1.62% |
| 満 期 日 | 2026/9/11 |
| 証 券 会 社 | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 |

表4-2 基本財産の早期償還に伴う買替

| | |
|---------|---------------------------|
| 償 還 日 | 2020/3/23 |
| 満期の債券 | 豪ドル為替連動債 (豪ドルパワーデュアル債) |
| 額 面 | 1億円 |
| 利 率 | 4.00% |
| 買換後の債券 | 第23回光通信株式会社 無担保普通社債 |
| 購入時の格付 | A-(JCR)(R&I) |
| 購 入 価 格 | 10072.4万円 |
| 実 質 利 率 | 1.32% |
| 満 期 日 | 2034/8/8 |
| 証 券 会 社 | 大和証券 |

6. 総務事項

(1) 理事会の開催

①第19回定例理事会（令和元年5月21日 於：大阪ガス本社ビル）

<審議事項>

- ・第1号議案 平成30年度事業報告及び決算
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)
- ・第2号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項

<報告事項>

・報告第1号 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

②みなし決議に関する理事会（令和元年12月10日）

公益財団法人大阪ガスグループ福祉財団の主たる事務所を移転することについて、理事及び監事全員へ提案書を発し、12月10日中に理事全員から書面により同意の意思表示、監事全員から書面により異議なしの意思表示を得て、以下の通り決議した。

- ・主たる事務所の移転先
大阪市中央区淡路町4丁目4番11号（アーバネックス淡路町ビル5階）
- ・移転時期
令和2年1月27日

③みなし決議に関する理事会（令和2年3月10日）

令和2年3月5日に、理事長野村明雄が、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記事項の内容の提案書を発し、3月10日中に、理事全員から書面により同意の意思表示、監事全員から書面により異議なしの意思表示を得て、決議した。

<提案事項>

- 第1号提案 2019年度高齢者福祉助成選考結果及び2019年度調査・研究助成選考結果
- 第2号提案 令和2年度事業計画、収支予算及び資金調達並びに設備投資の見込み
- 第3号提案 常勤役員の報酬等の決定

(2) 評議員会の開催

①第10回定時評議員会（令和元年6月13日 於：大阪ガス本社ビル）

<議事>

- ・報告第1号 平成30年度事業報告（報告事項）
- ・第1号議案 平成30年度決算の計算書類及び財産目録（審議事項）
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)
- ・報告第2号 2019年度事業計画及び収支予算（報告事項）
(2019年4月1日～2020年3月31日)

審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

(3) 助成選考委員会の開催（令和2年1月10日 於：大阪ガス本社ビル）

- ・第1号議案 2019年度 調査・研究助成の助成先選考
 - ・第2号議案 2019年度 高齢者福祉助成の助成先選考
- 以上の審議及び選考を行った。

(4) 官庁関係

①平成31年4月11日

法務局へ登記（代表理事・専務理事の住所変更の登記）

②令和元年6月14日

内閣府へ事業報告等の提出（電子申請）1900117294

③令和元12月13日

内閣府公益認定等委員会事務局から立入検査
特段の指摘事項なし、改善点3件

④令和2年1月30日

法務局へ登記（主たる事務所の移転登記）

⑤令和2年2月6日

内閣府へ事務所の所在場所の変更の届出（電子申請）2000144068

⑥令和2年3月18日

内閣府へ事業計画書等の提出（電子申請）2000146442

以 上